

# 快適な居住空間を

下京で  
シンポ

マンション活用議論



これからのマンションについて考えるシンポジウム「快適ぐらしの新提案」（京都新聞社主催）が十五日、京都市下京区のホテルで開かれ、世代を超えて活用できる居住空間について意見を交わした。

龍谷大の広原盛明教

これからのマンションのあり方について考えたハネルティスカッション（京都市下京区のホテル）

授が、マンションと家族ネットワークなどについて講演し、研究者や景観アドバイザー、施工業者、行政担当者など七人によるパネルディスカッションが行われた。

市内に住む五輪メダリストのスポーツコメンテーター奥野史子さんは「同居ではない三世帯マンションがあってもいいのでは」と提案した。各参加者は、少子高齢化社会に対応した住居や、資産価値の下がらない超長期住宅を説明したり、住人のライフスタイルの変遷について考えた。

（渋谷哲也）